



# 介護の理論と実践により福祉を実現する 介護福祉学の研究

保健福祉学部 人間福祉学科・大学院保健福祉学専攻  
教授 住居 広士 (すみい ひろし)  
医学博士・社会福祉士・介護福祉士

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 2505 号室  
Tel: 0848-60-1211 Fax: 0848-60-1211  
E-mail: sumii@pu-hiroshima.ac.jp sumii.hpc@gmail.com



専門分野： 介護福祉学, 社会福祉学, 保健福祉学, 長寿科学

キーワード： 介護福祉, 高齢者福祉, 介護保険, 保健福祉,  
医療介護, 少子高齢化, 長寿科学, 社会保障

## ● 現在の研究について

わが国の人口の少子高齢化は、いまだかつてないスピードで進展している。加齢に伴う障害は、複合障害を有し、地域包括ケアが必要とされ、保健福祉関係者が果たす役割が重要となる。この少子高齢化に、多方面から対策や研究が期待されている。地域包括ケアにおける標準化と専門性に課題を設定し、今後の長寿社会に向けた対策や研究をまとめ、さらに少子高齢化をとりまく、各職種間での連携と協働化の必要性について研究する。

## ● 今後進めていきたい研究について

(1) 介護福祉学を中心に、高齢者や障害者等を取り巻く課題に対して、介護福祉学に基づく介護モデルの研究を行う。介護福祉学の探求を図るために、介護福祉学に関する理論的学問ならびに実践的専門性を包括しながら、その課題の解決へ、教育と調査研究の過程を専門的に展開して、介護の実践により福祉を実現する介護福祉学体を探求する。

(2) 介護福祉学の研究課題を構築するために必要な保健・医療・福祉的専門知識、ならびに介護保険制度等をめぐる理論的と実践的研究を行う。介護福祉学に関連する実践現場に関与し、理論的かつ実践的知識と技術の探求を図る専門的研究を行う。介護福祉学の研究計画・展開過程・研究評価を研究しながら、保健・医療・福祉等の諸科学を展開する専門性と介護過程を研究する。

(3) 現在の介護福祉学の研究の課題点について、介護福祉学を探求する評価法と分析法を研究す

る。介護福祉学に基づく調査研究ならびに研究教育を実践できるように研究する。少子高齢社会において尊厳のある生活のための介護モデルに基づく介護福祉学について考察を深めて、研究論文等と著書の作成を目指す。その研究課題ならびに論文を提示しながら、調査研究を展開しながら、介護福祉学の理論と実践の探求過程から学術的水準を上げるように研究する。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

人口の少子高齢社会から人口減少社会を迎える日本では、地域協働型の多世代共生による長寿活力社会のデザインに創り直すという社会的課題を解決していく必要がある。社会が望む少子高齢社会から人口減少社会のあり方を、地域協働型の多世代共生による長寿活力社会デザインの創設を提唱する必要がある。地域社会の視点で、地域住民が安心して豊かに暮らし続ける地域社会を活性化することには多世代共生のネットワークの構築と地域包括ケアが必要であり、地域協働型の多世代共生で支える長寿活力社会の実現が、コミュニティで創る少子高齢社会から人口減少社会デザインとなる。

## ● これまでの連携実績

(1) 住居広士編著：国際介護保険用語辞典-介護保険の国際化。大学教育出版、2012

(2) 住居広士単著：介護モデルの理論と実践-介護保険総合研究。大学教育出版

(3) 住居広士単著：介護保険における介護サービスの標準化と専門性。大学教育出版、2007

(4) 住居広士編著：医療介護とは何か-医療と介護の共同保険時代。金原出版、2004

(5) 住居広士編著：介護保険入門書-介護保障を支援するために。インデックス出版、2002 他多数